

2. 2 (株)SAKURA/ライフデザイン・カバヤ(株)

2. 2. 1 建築物の仕様一覧

事業名	(仮称)鮎政様本店テナントビル新築工事の建築実証		
実施者(担当者)	(株)SAKURA/ライフデザイン・カバヤ(株)(難波 和也)		
建築物の概要	用途	物品販売業を営む店舗、事務所、飲食店	
	建設地	埼玉県さいたま市	
	構造・工法	鉄骨造(付加制振 → 有孔CLT制振壁)	
	階数	地上9階	
	高さ(m)	32.363	
	軒高(m)	29.463	
	敷地面積(m ²)	137.80	
	建築面積(m ²)	112.34	
	延べ面積(m ²)	894.23	
	階別面積(m ²)	1階 109.00 2階 109.45 3～8階 98.86(各階) 9階 82.62	
CLTの仕様	CLT採用部位	壁	
	CLT使用量(m ³)	加工前製品量25.4387m ³ 、加工後建築物使用量20.0132m ³	
	壁パネル	寸法	210mm厚(表面加工あり)
		ラミナ構成	5層7プライ
		強度区分	S90A
	床パネル	寸法	-
		ラミナ構成	-
		強度区分	-
	屋根パネル	寸法	-
		ラミナ構成	-
強度区分		-	
木材	主な使用部位 (CLT以外の構造材)	有孔CLT制振壁 頭部接合金物目隠しパネル:ヒノキ	
	木材使用量(m ³) ※構造材、羽柄材、下地材、仕上材等とし、CLT以外とする	0.6944m ³	
仕上	主な外部仕上	屋根	アスファルト露出防水(水勾配1/100)
		外壁	アルミキャストフレームt=30、ALC板t=100、御影石割り肌仕上げt=35(下地押出成形セメント板t=60)
		開口部	アルミサッシ(防火設備)+複層ガラス(延焼線部分は網入りガラスとの複層)
	主な内部仕上	界壁	-
		間仕切り壁	LGS下地の上スチールパネルt=1.6、LGS下地石膏ボードt=12.5の上ビニルクロス、LGS下地石膏ボードt=12.5素地仕上げ
床	モルタル下地の上御影石t=25、コンクリート金ゴテ仕上げ、タイルカーペットt=7		
天井	LGS下地の上スチールパネルt=1.6、直天井(一部梁型:石こうボードt=12.5素地仕上げ) LGS+石こうボードt=9.5下地の上岩綿吸音板t=12		
構造	構造計算ルート	ルート3	
	接合方法	HTB + 鋼板挿入ドリフトピン接合	
	最大スパン	6.890m	
防火	防火上の地域区分	準防火地域	
	耐火建築物等の要件	有	
	本建築物の耐火仕上	1階～5階:2時間耐火、6階～9階:1時間耐火	
問題点・課題とその解決策	CLT壁パネルを水平力のみ(構造耐力上主要な部分)を負担する付加耐震要素として利用し、耐火被覆をせず現しとさせた。(主要構造部に該当しないため耐火被覆不要。)		
温熱	建築物省エネ法の該当有無	該当あり:規制対象	
	温熱環境確保に関する課題と解決策	特になし	
	主な断熱仕様(断熱材の種類・厚さ)	屋根(又は天井)	押出法ポリスチレンフォーム保温板t=25
		外壁	硬質ウレタンフォーム吹付t=20
床		押出法ポリスチレンフォーム保温板t=25(1階床スラブ)	
遮音性確保に関する課題と解決策	特になし		
施工	建て方における課題と解決策	現場ヤードの制約および鉄骨建方後の内部施工による取付手順が課題となったが、事前施工計画の徹底と現場状況に応じた施工調整により、安全かつ円滑に施工した。	
	給排水・電気配線設置上の工夫	特になし	
	劣化対策	特になし	
工程	設計期間	2024年4月～2025年7月(約16ヵ月)	
	施工期間	2025年8月～2026年6月(約11ヵ月)	
	CLT躯体施工期間	・CLT搬入作業期間:2026年2月13日～14日、15日～16日(計4日間) ・CLT取り付け作業期間:2026年2月14日～19日(計6日間)	
竣工(予定)年月日	2026年6月30日		
体制	発注者	株式会社SAKURA	
	設計者(複数の場合はそれぞれ役割を記載)	株式会社LAD	
	構造設計者	株式会社構造計画研究所	
	施工者	株式会社Rays Product	
	CLT供給者	銘建工業株式会社	
ラミナ供給者	銘建工業株式会社		